



2021年12月21日

日本プロフェッショナル野球組織
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパー J S A T 株式会社

2021 スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞 坂倉将吾選手(広島東洋カープ)と岡大海選手(千葉ロッテマリーンズ)に決定！

セントラル、パシフィック両リーグが第三者公式表彰として制定しておりますスカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞(協賛:スカパーJSAT株式会社、以下「本賞」)の今年度の受賞選手が、セ・リーグは 広島東洋カープの坂倉将吾選手、パ・リーグは 千葉ロッテマリーンズの岡大海選手に決定いたしました。

本賞は、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打などを放った選手(セ・パ両リーグの各1選手)に贈られる賞です。「最後の一球まで何が起こるかわからない」と言われる野球というスポーツの象徴的なプレーであるサヨナラ打を称える本賞は、プロ野球全12球団公式戦全試合を放送し、ファンのみなさまの胸が熱くなるゲームを最後までお届けしているスカパー！の想いと連動した賞であり、今シーズンは月間「スカパー！サヨナラ賞」の全11プレー中から、初めてファン投票により選出いたしました。

受賞両選手にはそれぞれオリジナルトロフィーと賞金200万円が贈られます。

「2021 スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」受賞選手

セントラル・リーグ

さくら しょうご

坂倉 将吾 選手 (広島東洋カープ)

～ 9回4点差を逆転する自身初のサヨナラ本塁打～

坂倉選手は、9月7日(火)マツダスタジアムで行われた対中日ドラゴンズ18回戦、7対5と2点ビハインドで迎えた9回裏、2死1、2塁の場面で打席に立ち、ライトスタンドへ逆転サヨナラ3点本塁打を放った。

広島東洋は、先発の森下投手が6回途中4失点、2番手以降の投手陣も中日打線を食い止められないまま9回表終了時点で7対3と苦しい状況を迎えていた。しかし、続く9回裏、下位打線の連打により2死1、3塁とチャンスを作り、3番西川選手、4番鈴木誠選手の連続適時打で2点差に追い上げると、2死1、2塁の場面で坂倉選手が打席に立った。本塁打を放てば今シーズン初のサヨナラ勝利となる場面で、カウント2-1から中日の守護神R. マルティネス投手の直球を捉え、打球はそのままライトスタンドへ突き刺さった。この劇的な一打は、自身初となるサヨナラ打になると同時に二桁本塁打を達成した。

パシフィック・リーグ

おか ひろみ

岡 大海 選手 (千葉ロッテマリーンズ)

～チームの2年連続CS進出を決めるサヨナラ本塁打～

岡選手は、10月15日(金)ZOZOマリンスタジアムで行われた対福岡ソフトバンクホークス22回戦、1対1の同点で迎えた9回裏、2死1塁の場面で左中間へサヨナラ2点本塁打を放った。

千葉ロッテは1点を先制された直後の5回裏、加藤選手のソロ本塁打で同点とする。その後、両チームのリリーフ陣が無失点リレーを見せ、1対1のまま試合は最終回の攻防へ。9回表、千葉ロッテ抑えの益田投手が打者3人でしっかりと抑え、裏の攻撃へ全てを託す。9回裏のマウンドには福岡ソフトバンク抑えの森投手。1死から代打、佐藤都選手が四球を選び出塁し、その後2死1塁となった場面で打席には岡選手。3-1からの5球目を捉えた打球は左中間へ伸び、そのままスタンドへ。土壇場での劇的なサヨナラアーチは、激しい首位争いを続けるチームにとって最高の一打となった。また、この試合の勝利で千葉ロッテは2年連続のCS進出を決めた。岡選手は4月21日に続く、今季2本目のサヨナラ本塁打。

【2021 セントラル・リーグレギュラーシーズン公式戦 サヨナラ試合一覧 全13試合】

	試合日	勝利打点選手 (サヨナラ打者)	所属	対戦相手	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前スコア	走者	個人回数	備考
1	3月26日 (金)	亀井	巨人	横浜DeNA	8x-7	右越本①	9回	7-7	無死無走者	①	代打
2	4月3日 (土)	山本	阪神	中日	1x-0	中越2①	9回	0-0	2死1・2塁	①	
3	4月24日 (土)	オスナ	東京ヤクルト	中日	4x-3	右越安②	9回	2-3	2死1・3塁	①	逆転
4	5月9日 (日)	岡本和	巨人	東京ヤクルト	7x-5	右越本③	9回	4-5	1死1・2塁	①	逆転
5	6月6日 (日)	大和	横浜DeNA	千葉ロッテ	4x-3	左越2①	9回	3-3	2死2塁	①	
6	7月9日 (金)	内川	東京ヤクルト	広島東洋	4x-3	中前安①	9回	3-3	1死満塁	①	代打
7	7月12日 (月)	大山	阪神	横浜DeNA	4x-3	中前安①	9回	3-3	2死1・3塁	①	
8	9月4日 (土)	大山	阪神	巨人	4x-3	左越本②	9回	2-3	無死1塁	②	逆転
9	9月7日 (火)	坂倉	広島東洋	中日	8x-7	右越本③	9回	5-7	2死1・2塁	①	逆転
10	9月15日 (水)	岡本和	巨人	横浜DeNA	7x-6	左犠飛①	9回	6-6	1死満塁	②	
11	10月5日 (火)	高橋周	中日	広島東洋	4x-3	四球①	9回	3-3	2死満塁	①	
12	10月7日 (木)	山田	東京ヤクルト	巨人	1x-0	遊安①	9回	0-0	2死2塁	①	
13	10月10日 (日)	柴田	横浜DeNA	中日	2x-1	左犠飛①	9回	1-1	1死満塁	①	

【2021 パシフィック・リーグレギュラーシーズン公式戦 サヨナラ試合一覧 全18試合】

	試合日		勝利打点選手 (サヨナラ打者)	所属	対戦相手	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前スコア	走者	個人回数	備考
1	3月27日	(土)	今宮	福岡ソフトバンク	千葉ロッテ	3x-2	中越2①	9回	2-2	1死2塁	①	
2	3月28日	(日)	川島	福岡ソフトバンク	千葉ロッテ	6x-5	右前安②	9回	4-5	2死満塁	①	代打・逆転
3	4月21日	(水)	岡	千葉ロッテ	北海道日本ハム	6x-5	中越本②	9回	4-5	2死1塁	①	逆転
4	4月22日	(木)	杉本	オリックス	埼玉西武	7x-6	左前安①	9回	6-6	2死3塁	①	
5	4月30日	(金)	宗	オリックス	福岡ソフトバンク	5x-4	左中2②	9回	3-4	1死1・2塁	①	逆転
6	5月1日	(土)	杉谷	北海道日本ハム	埼玉西武	5x-4	四球①	9回	4-4	2死満塁	①	
7	6月13日	(日)	T-岡田	オリックス	広島東洋	9x-8	右前安①	9回	8-8	2死満塁	①	
8	7月6日	(火)	高濱	北海道日本ハム	埼玉西武	4x-3	中越2①	9回	3-3	2死1塁	①	
9	8月20日	(金)	吉田正	オリックス	埼玉西武	2x-1	中犠飛①	9回	1-1	1死満塁	①	
10	9月7日	(火)	大下	オリックス	千葉ロッテ	4x-3	中越安①	9回	3-3	1死満塁	①	
11	9月10日	(金)	レアード	千葉ロッテ	東北楽天	3x-2	左越本①	9回	2-2	2死無走者	①	
12	9月23日	(木)	柘植	埼玉西武	東北楽天	4x-3	左前安①	9回	3-3	2死満塁	①	代打
13	10月3日	(日)	西川	北海道日本ハム	埼玉西武	3x-2	中前安①	9回	2-2	2死満塁	①	代打

【2021 パシフィック・リーグレギュラーシーズン公式戦 サヨナラ試合一覧 全18試合】

	試合日	勝利打点選手 (サヨナラ打者)	所属	対戦相手	最終スコア	決勝打 (丸数字は打点)	イニング	直前スコア	走者	個人回数	備考
14	10月10日 (日)	岸	埼玉西武	東北楽天	3x-2	右前安①	9回	2-2	2死2・3塁	①	
15	10月13日 (水)	岡島	東北楽天	福岡ソフトバンク	2x-1	右前安①	9回	1-1	1死満塁	①	
16	10月15日 (金)	岡	千葉ロッテ	福岡ソフトバンク	3x-1	左中本②	9回	1-1	2死1塁	②	
17	10月23日 (土)	荻野	千葉ロッテ	北海道日本ハム	4x-3	右前安①	9回	3-3	無死満塁	①	
18	10月26日 (火)	松本剛	北海道日本ハム	埼玉西武	1x-0	四球①	9回	0-0	1死満塁	①	代打

【スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞 歴代受賞選手】

年度	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009	亀井 義行(読売ジャイアンツ)	井口 資仁(千葉ロッテマリーンズ)
2010	天谷 宗一郎(広島東洋カープ)	小久保 裕紀(福岡ソフトバンクホークス)
2011	長野 久義(読売ジャイアンツ)	松田 宣浩(福岡ソフトバンクホークス)
2012	和田 一浩(中日ドラゴンズ)	中田 翔(北海道日本ハムファイターズ)
2013	長野 久義(読売ジャイアンツ)	浅村 栄斗(埼玉西武ライオンズ)
2014	福留 孝介(阪神タイガース)	松田 宣浩(福岡ソフトバンクホークス)
2015	雄平(東京ヤクルトスワローズ)	柳田 悠岐(福岡ソフトバンクホークス)
2016	鈴木 誠也(広島東洋カープ)	吉村 裕基(福岡ソフトバンクホークス)
2017	宮崎 敏郎(横浜DeNAベイスターズ)	栗山 巧(埼玉西武ライオンズ)
2018	下水流 昂(広島東洋カープ)	森 友哉(埼玉西武ライオンズ)
2019	高山 俊(阪神タイガース)	鈴木 大地(千葉ロッテマリーンズ)
2020	西浦 直亨(東京ヤクルトスワローズ)	井上 晴哉(千葉ロッテマリーンズ)

【月間「スカパー！ サヨナラ賞」 歴代受賞選手】

2012年度より「スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」に加え、月間賞として 月間「スカパー！ サヨナラ賞」を表彰しております。

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	中村紀洋(横浜DeNA)	田中賢介(北海道日本ハム)
5月	森野将彦(中日)	A. バルディリス(オリックス)
6月	和田一浩(中日)	M. ホフパワー(北海道日本ハム)
7月	石原慶幸(広島東洋)	柘田慎太郎(東北楽天)
8月	阿部慎之助(巨人)	柳田悠岐(福岡ソフトバンク)
9月	新井良太(阪神)	松井稼頭央(東北楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	平田良介(中日)	松田宣浩(福岡ソフトバンク)
5月	福留孝介(阪神)	中川大志(東北楽天)
6月	井端弘和(巨人)	吉田裕太(千葉ロッテ)
7月	藤井淳志(中日)	中村剛也(埼玉西武)
8月	坂本勇人(巨人)	柳田悠岐(福岡ソフトバンク)
9月	中村悠平(東京ヤクルト)	B. レアード(北海道日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	福留孝介(阪神)	松田宣浩(福岡ソフトバンク)
5月	畠山和洋(東京ヤクルト)	浅村栄斗(埼玉西武)
6月	M. マートン(阪神)	高橋信二(オリックス)
7月	丸佳浩(広島東洋)	嶋基宏(東北楽天)
8月	長野久義(巨人)	浅村栄斗(埼玉西武)
9月	石原慶幸(広島東洋)	片岡治大(埼玉西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	杉山翔大(中日)	吉村裕基(福岡ソフトバンク)
5月	坂本勇人(巨人)	井口資仁(千葉ロッテ)
6月	鈴木誠也(広島東洋)	B. レアード(北海道日本ハム)
7月	筒香嘉智(横浜DeNA)	B. レアード(北海道日本ハム)
8月	脇谷亮太(巨人)	森友哉(埼玉西武)
9月	J. ギャレット(巨人)	細谷圭(千葉ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	B. エルドレッド(広島東洋)	A. ジョーンズ(東北楽天)
5月	梵英心(広島東洋)	加藤翔平(千葉ロッテ)
6月	嶺井博希(横浜DeNA)	今宮健太(福岡ソフトバンク)
7月	福留孝介(阪神)	斉藤彰吾(埼玉西武)
8月	J. ロペス(巨人)	田村龍弘(千葉ロッテ)
9月	T. ブランコ(横浜DeNA)	松井稼頭央(東北楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	鶴久森淳志(東京ヤクルト)	聖澤 諒(東北楽天)
5月	荒木貴裕(東京ヤクルト)	駿太(オリックス)
6月	亀井善行(巨人)	福田秀平(福岡ソフトバンク)
7月	大松尚逸(東京ヤクルト)	J. アマダー(東北楽天)
8月	宮崎敏郎(横浜DeNA)	栗山 巧(埼玉西武)
9、10月	安部友裕(広島東洋)	A. デスパイネ(福岡ソフトバンク)

【月間「スカパー！ サヨナラ賞」 歴代受賞選手】

2012年度より「スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」に加え、月間賞として 月間「スカパー！ サヨナラ賞」を表彰しております。

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	下水流昂(広島東洋)	森友哉(埼玉西武)
5月	山下幸輝(横浜DeNA)	清田育宏(千葉ロッテ)
6月	山田哲人(東京ヤクルト)	上林誠知(福岡ソフトバンク)
7月	下水流昂(広島東洋)	山下斐紹(東北楽天)
8月	鈴木誠也(広島東洋)	Y. グラシアル(福岡ソフトバンク)
9、10月	上田剛史(東京ヤクルト)	中島宏之(オリックス)

2021年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	亀井善行(巨人)	岡大海(千葉ロッテ)
5月	岡本和真(巨人)	該当試合無し
6月	大和(横浜DeNA)	T-岡田(オリックス)
7、8月	大山悠輔(阪神)	高濱祐仁(北海道日本ハム)
9月	坂倉将吾(広島)	B. レアード(千葉ロッテ)
10、11月	山田哲人(東京ヤクルト)	岡大海(千葉ロッテ)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月	青木宣親(東京ヤクルト)	中田翔(北海道日本ハム)
5月	高山俊(阪神)	辰己涼介(東北楽天)
6月	原口文仁(阪神)	鈴木大地(千葉ロッテ)
7月	Y. ソラーテ(阪神)	中村剛也(埼玉西武)
8月	石川慎吾(巨人)	清田育宏(千葉ロッテ)
9月	N. ソト(横浜DeNA)	E. メヒア(埼玉西武)

2020年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
6、7月	西浦直亨(東京ヤクルト)	A. ロドリゲス(オリックス)
8月	上本崇司(広島)	山川穂高(埼玉西武)
9月	吉川尚輝(巨人)	茂木栄五郎(東北楽天)
10、11月	高橋周平(中日)	井上晴哉(千葉ロッテ)